2026 年 7 月 17 日
大王製紙株式会社

可児工場敷地内の土壌調査結果に関するお知らせ

大王製紙株式会社可児工場（住所：岐阜県可児市）敷地内におきまして、設備建設工事に伴う自主的な土壌調査を実施した結果、土壌溶出量基準を超過するヒ素およびふっ素が検出されました。

本件につきましては、「岐阜県地下水の適正管理及び汚染対策に関する要綱」に基づき、岐阜県へ報告しております。

当社工場ではヒ素を原材料として使用した実績がなく、また調査地点においてふっ素を使用した実績もないことから、検出された物質は自然由来である可能性が高いと考えております。

今後も行政機関の指導に基づき、適切に対応してまいります。

記

１．調査地点

大王製紙株式会社可児工場

２．調査結果の概要

<土壌溶出量調査>

項目	調査検体数	基準超過検体数	調査結果 (mg/L)	土壌溶出量基準 (mg/L)
ヒ素	5	4	0.001 未満～0.15	0.01 以下
ふっ素	5	1	0.35～1.1	0.8 以下

※その他の物質について基準超過はありません。また、土壌含有量試験の基準超過はありません。

３．原因

当工場ではヒ素を原材料として使用した実績はありません。また、ふっ素についても調査地点において原材料として使用した実績はないことから、自然由来の可能性が高いと考えています。

４．周辺への影響

「岐阜県地下水の適正管理及び汚染対策に関する要綱」に基づき、調査地点から半径 250m 以内を対象に、県による井戸水の水質検査が実施されますが、範囲内に民家の井戸は確認されておりません。また、調査地点から地下水流下流側に位置する当社井戸の水質調査においても基準値超過はなく、現時点において周辺環境への影響を示す状況は確認されておりません。

５．製品への影響

今回の調査結果を受けて、当工場で生産する製品について分析を行った結果、ヒ素およびふっ素はいずれも検出限界未満であり、製品の安全性に問題がないことを確認しております。

以上